

氏名：安川 幸男（やすかわ ゆきお）氏

### ▽職業／役職

鳥取銀行 / 地方創生アドバイザー

一般社団法人ベンチャー型事業承継 / エヴァンジェリスト

鳥取大学大学院 / 非常勤講師

### ▽プロフィール

1970 年東京生まれ、東京都出身。大学院を中退後、バーテンダー、競馬予想会社、出版社など多岐にわたる仕事を経験。31 歳のときにビジネスプロデューサー職で NTT データに転職。コンテンツビジネス、社内ベンチャー立ち上げを経て、NTT 持株会社にてライブビューイング等のメディア事業を推進。その後、NTT ドコモにて東京大学とオンライン教育に関する共同研究など 15 年間 NTT グループにて新規事業開発に従事。

46 歳 で生き方を考え、かねてから憧れた地方暮らしを選択して鳥取へ移住し、鳥取県庁へ入庁。商工労働部にて起業家支援を推進後、鳥取銀行へ転職。現在は同行にて地方創生、ベンチャー型事業承継、大学とのイノベーション人材開発などに従事。IT、教育、ベンチャー支援、メディア、哲学、地域活性と分野を越境するビジネスプロデュースが持ち味。

### ▽人物等紹介

安川氏は、民間時代から「ゼロイチ（0 から 1 を作っていく作業）」が得意で、出版社では電子書籍を作る新規事業、NTT データ時代にはアニメ制作や映画のプロモーション事業、NTT ではライブビューイング事業、NTT ドコモでは東京大学と共同研究でオンライン教育事業の立ち上げに尽力している。

その後、地方創生や、地域の暮らしにスポットが当たり始めていた 46 歳の時に、他の企業の誘いを断り鳥取県庁に転職し家族で鳥取に移住。入庁間もないうちに、自身のキャリアが活かせる部署への活用を副知事に直談判し、わずか 8 ヶ月で商工労働部に異動し起業支援などに携わっている。

また、自身がより動きやすい働き方を求め、2018 年 4 月から鳥取銀行初の年俸制での行員として契約し地方創生アドバイザーとして、新規事業の立ち上げやベンチャー型事業承継などを行っている。

イノベーションによる新事業・新産業創出のほか、地方創生を行う上で重要となる「産学金官（産（バーテンダー～NTT データほか）、学（鳥取大学）、金（鳥取銀行）、官（鳥取県庁）」全ての経験を有し、現在も銀行での業務の枠を超え、地元新聞のコラム執筆、鳥取大学非常勤講師など活躍されている安川氏ならではの話が期待される。

▽紹介 HP <https://www.glocaltimes.jp/lifestyle/7546>